

1・2 部	1 年次	通 年	公共	履修形態	全員履修
				履修単位	2
科目の目標				教科書	190東法 公共712
個人と社会との関係や人間としての在り方・生き方、経済の仕組みや国際関係の構図、持続可能な社会の実現について学習することを通じて、公正に判断する能力と社会的な見方や考え方を習得する。				副教材等	なし
				履修条件	特になし

授業計画(学習内容、単元の目標・ねらい)

期	月	学習内容(単元)	単元の目標・ねらい	
前 ①	4 ・ 5	・公共的な空間をつくる私たち ・日本の文化と社会	知識・技能	青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。
			思考・判断・表現	青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現する。
			主体的に学習に取り組む態度	青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。
前 ②	6 ・ 7	・社会の多様性と宗教と文化 ・エネルギーと地球環境問題	知識・技能	現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
			思考・判断・表現	現実社会の諸課題について自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。
			主体的に学習に取り組む態度	現実社会の諸課題について、自分自身の課題として捉え、主体的に追究する。
後 ①	9 ・ 10 ・ 11	・グローバル社会の進展と課題 ・民主政治と国民主権 ・日本の政治と選挙の仕組み	知識・技能	政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、利害の対立状況を調整して合意を形成することを通して築かれるものであることについて理解する。
			思考・判断・表現	法、政治及び経済などを関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。
			主体的に学習に取り組む態度	自立した主体として解決が求められる具体的な主題について、自分自身の課題として捉え、主体的に追究する。
後 ②	12 ・ 1 ・ 2	・経済のしくみと豊かな生活の実現 ・国際経済のしくみと外国為替 ・持続可能な社会をつくるために	知識・技能	市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。
			思考・判断・表現	地域創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。
			主体的に学習に取り組む態度	持続可能な社会をつくることについて、自分自身の課題として捉え、主体的に追究する。

評価規準(「おおむね満足できる(B)」と判断できる状況)

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価のポイント	前①	青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化について、その特徴について理解している。	青年期の特徴を自分事として捉え、よりよい人生のために考察し、自分の言葉で表現している。	青年期の特徴や日本の文化について、他者の意見を参考にする積極的な姿勢がみられる。
	前②	社会を形作る基本的な権利や考え方について、理解している。	社会の多様性とその課題について、諸資料をもとに考察し、自分の言葉で表現している。	現実社会の諸課題について、他者の意見を参考にする積極的な姿勢がみられる。
	後①	国内政治の仕組みと諸外国との関係について、具体的な用語の意味を理解している。	設定された主題について、諸外国や他者との関係に留意しながら考察し、自分の言葉で表現している。	自立した主体として解決が求められる具体的な主題について、他者の意見を参考にする積極的な姿勢がみられる。
	後②	持続可能な社会の実現に向けて、経済的な側面からその概要について理解している。	持続可能な社会の実現に向けて、自身の生活を振り返り、未来を想定しながら、主題について考察している。	市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題、他者の意見を参考にする積極的な姿勢がみられる。
評価の場面		定期考査・小テスト 授業中の発言や発表内容 ワークや演習問題での取組 授業内容に基づく技能の実践	定期考査・小テスト 授業中の発言や発表内容 グループワークでの取組 作品の制作や表現	ノート(レポート)の記述 授業中の発言や発表内容 授業態度や取組む姿勢 自己評価や相互評価